

応急給水栓の仕様等（参考）は以下のとおりです。詳細は区と協議の上、決定します。

### 1 準拠する仕様書類

- (1) 配水管工事標準仕様書
- (2) 東京都水道用配管材料仕様書
- (3) 指定給水装置工事事業者工事施行要領
- (4) 配水管工事標準図

### 2 配水小管の分岐から水道メータまでの施工方法

#### (1) 管種

基本的な施工方法は、指定給水装置工事事業者工事施行要領に準拠するが、避難所に関しては発災時の給水を確保するために、配水小管分岐部からメータまで耐震性を有する材料の使用を推奨する。具体的には、口径 **75mm** 以上の場合はダクタイル鋳鉄管（GX継手など）、口径 **50mm** 以下の場合はステンレス鋼管を使用する。

#### (2) 口径

給水管の口径は計画使用水量に応じて決定されるものであるが、必要となる口径が **50mm** 以下の場合は、応急給水栓の口径が **50mm** のため、配水小管分岐部から応急給水栓への分岐部までは **50mm**、分岐部から下流は使用水量に応じた口径にて配管する。

### 3 応急給水栓の設置方法

#### (1) 応急給水栓の分岐

既設給水管の第一止水栓からメータまでの直管部から、サドル分水栓又はステンレスチーズにて分岐する。

#### (2) 配管

給水管から分岐する配管は、口径 **50mm** のステンレス鋼管を使用する。

なお、取り出しから分岐までの給水管が口径 **40mm** 以下の場合は、同範囲の口径を **50mm** に増径する。

#### (3) 止水栓の設置

分岐したステンレス管の先に止水栓（ステンレス製ボール止水栓）を設置する。設置位置は分岐点に最も近い位置とし、埋設深度は **30cm** とする。

#### (4) 応急給水栓の設置

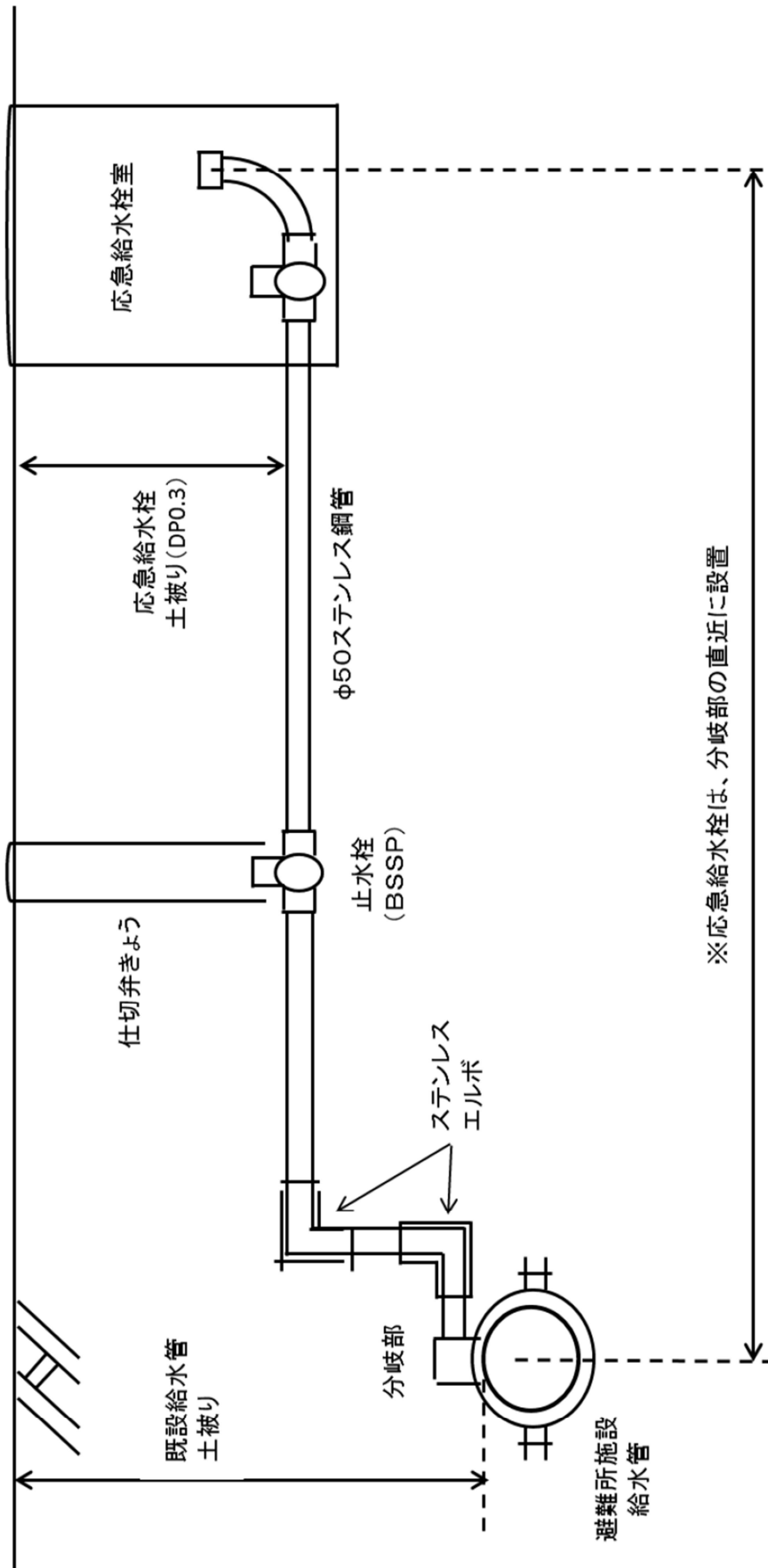
分岐の末端に応急給水栓を設置する。設置位置は、排水作業及び応急給水作業を考慮した上で、分岐部直近の位置とする。

#### (5) 完了通知

施工完了後、東京都水道局給水部給水課漏水防止担当に完了通知の提出を行う。完了通知には、応急給水栓に係る次の部分の施工写真を添付する。

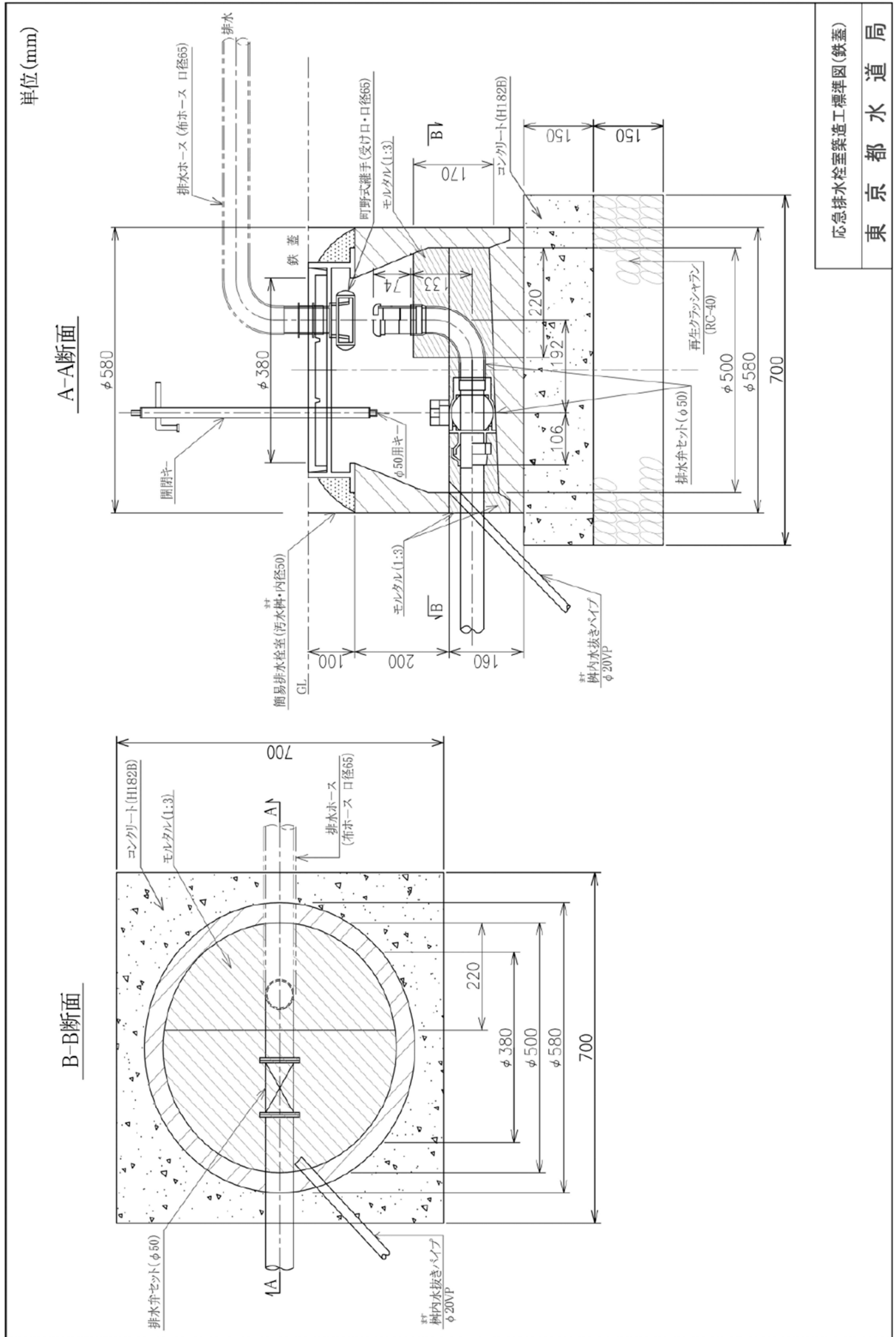
- ・ 応急給水栓分岐部
- ・ 止水栓部
- ・ 応急給水栓部（室設置も含む）

4 応急給水栓施設標準断面図



※既設給水管からの分岐方法について、既設給水管口径が  
 φ75以上の場合・・・サドル分水栓で分岐  
 φ50以下の場合・・・ステンレスチーズで分岐

5 応急給水栓標準構造図



応急排水栓室築造工標準図(鉄蓋)

東京都水道局

## 6 口径別の施工例

分類	施工図	備考
(ア) 口径 75mm 以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水小管分岐部からメータまで、ダクタイル鋳鉄管（GX型等）にて配管</li> <li>・応急給水栓への分岐部はサドル分水栓を使用</li> <li>・応急給水栓の配管はステンレス鋼管を使用</li> </ul>
(イ) 口径 50mm		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水小管分岐部からメータまで、ステンレス鋼管にて配管</li> <li>・応急給水栓への分岐部はステンレスチーズを使用</li> </ul>
(ウ) 口径 50mm 未満		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水小管分岐部からメータまで、ステンレス鋼管にて施工。配管口径は配水小管分岐部から応急給水栓分岐部までは50mmとし、応急給水栓分岐部からメータまではメータ口径で配管する。</li> <li>・応急給水栓への分岐部はステンレスチーズを使用</li> </ul>

<凡例>

◇S：応急給水栓

⊕：水道メータ